

平成30年度木津川市一般会計 補正予算第1号について（概要）

総務部財政課

平成30年度補正予算第1号は、国庫・府支出金や各種助成金の内示・採択結果に基づく施策の充実や、重要施策推進を図るための予算のほか、緊急に対応する必要がある予算を計上するものである。

予算案の主な概要

1 補正予算の規模

補正前	283億3,600万0,000円
補正額	192万2,000円（0.0%増）
補正後	283億3,792万2,000円

2 予算の内容

【主な歳入】

◎国庫支出金

子どものための教育・保育給付費国庫負担金	216万2,000円増
道路新設改良事業費国庫補助金	418万0,000円増
国宝重要文化財等保存整備費国庫補助金	30万0,000円増

◎府支出金

子どものための教育・保育給付費府負担金	215万0,000円増
---------------------	-------------

◎諸収入

コミュニティ助成事業助成金	360万0,000円
がんばる地域応援事業助成金	150万0,000円

◎市債

道路新設改良事業債	310万0,000円増
文化財保護事業債	1,900万0,000円

【主な歳出】

◎国・府制度等を活用した施策の充実

自治会に対するコミュニティ助成（企画事務事業費）

360万0,000円

「通い版地域おこし協力隊」の創設（企画事務事業費）

150万0,000円

木津内田山線道路改良事業費

510万0,000円増

京都式チーム学校推進校実践・研究事業（木津南中学校管理事業費）

13万4,000円

歴史文化基本構想策定事業費

39万2,000円増

◎重要施策の推進

I P 無線機の増設（内水対策事業費）

77万8,000円

排水ポンプユニット購入事業（内水対策事業費）

△2,106万0,000円減

東中央線関連整備事業

460万2,000円

◎緊急事案対応

放課後児童クラブ指導員等の社会保険加入

164万7,000円

市外私立幼稚園子ども・子育て支援新制度移行に伴う施設型給付費

（幼稚園事務事業費）

551万9,000円

科		項		目	
所					
事					
市 総 合 計 (基 本 計 の 位 置 付 け					
事 業 期 間	新規・継続				
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前					
補 正 額					
補 正 後					
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	金額の表記は、原則として、費目ごとの補正額を記載し、()内に補正後の予算額を記載していますが、予算の用途を明確にするため、事項ごとに費目ごとの金額を記載している場合もあります。その場合は、その事項に相当する補正後の金額を()内に記載しています。				
主な特定財源					
政策を必要とする背景及び提案の経緯					
市 民 参 加 の 状 況	年度によって変わるものではない当該事業の基本情報を記しています。 (補正予算の特徴等を記しているものではありません。)				
将来にわたる効果等					

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
所 管	マチオモイ部 学研企画課					
事 業	101 企画事務事業費					
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章2【まちづくりへの参画と協働の創造】 市民と行政のパートナーシップの推進					
事 業 期 間				新規・継続	継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	4,359					4,359
補 正 額	5,100				5,100	
補 正 後	9,459				5,100	4,359
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	コミュニティ事業補助金:3,600千円皆増 一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、自治会の備品整備に対する補助を行う。 ※城山台11丁目自治会2,500千円(パソコン、発電機、テント等コミュニティ活動備品および集会所管理備品購入) ※下川原地域1,100千円(パソコン、発電機等コミュニティ活動備品購入) がんばる地域応援事業補助金:1,500千円皆増 一般財団法人地域活性化センターのがんばる地域応援事業助成金を活用し、大学生による「通い版地域おこし協力隊」としての『当尾地域力創造プラン』に基づく地域活性化を図る取組に対し補助を行う。 ※NPO法人プロデュース・テクノロジー開発センター(アドバイザー謝礼500千円、その他協力隊活動費等)					
主な特定財源	コミュニティ助成事業助成金:3,600千円、がんばる地域応援事業助成金:1,500千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯						
市 民 参 加 の 状 況	行政運営における透明性の向上と市民等に対する説明責任を果たし、市民参加型の公平公正で開かれた市政の実現を目指す。					
将来にわたる効果等						

平成30年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	統計調査費	目	工業統計調査費
所 管	総務部 総務課					
事 業	3641	工業統計調査事業費				
市 総 合 計 画 （ 基 本 計 画 ） の 位 置 付 け	7章2 【まちづくりへの参画と協働の創造】 市民と行政のパートナーシップの推進					
事 業 期 間	平成30年度			新規・継続		
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	218			212		6
補 正 額	3			3		
補 正 後	221			215		6
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	調査員報酬:3千円増(167千円) 工業統計調査事務費府委託金の内示に伴い、所要の補正を行う。					
主な特定財源	工業統計調査事務費府委託金:3千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	統計調査事務を適正に執行する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	総務費	項	統計調査費	目	住宅・土地統計調査費
所 管	総務部 総務課					
事 業	3719	住宅・土地統計調査事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章2 【まちづくりへの参画と協働の創造】 市民と行政のパートナーシップの推進					
事 業 期 間	平成30年度			新規・継続		
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	5,077			5,071		6
補 正 額	△ 307			△ 313		6
補 正 後	4,770			4,758		12
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	調査員報酬:△312千円減(3,901千円)、費用弁償:△77千円減(372千円)、消耗品費:74千円増(181千円)、通信運搬費:8千円増(62千円) 調査区の確定による調査員数の減員(2名)と、住宅・土地統計調査事務費府委託金の内示に伴い、所要の補正を行う。					
主な特定財源	住宅・土地統計調査事務費府委託金:△313千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	統計調査事務を適正に執行する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

平成30年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	統計調査費	目	経済センサス基礎調査準備調査費
所 管	総務部 総務課					
事 業	3721	経済センサス基礎調査準備事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章2 【まちづくりへの参画と協働の創造】 市民と行政のパートナーシップの推進					
事 業 期 間	平成30年度			新規・継続		
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	6			3		3
補 正 額	14			16		△ 2
補 正 後	20			19		1
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	普通旅費:2千円増(4千円)、消耗品費:13千円増(16千円)、通信運搬費:△1千円皆減 経済センサス基礎調査準備府委託金の内示に伴い、所要の補正を行う。					
主な特定財源	経済センサス基礎調査準備府委託金:16千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	統計調査事務を適正に執行する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	民生費	項	児童福祉費	目	放課後児童健全育成事業費
所 管	健康福祉部 こども宝課					
事 業	1217	放課後児童健全育成事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章1 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	102,595		32,762	32,762		24,675 12,396
補 正 額	1,647					1,647
補 正 後	104,242		32,762	32,762		24,675 14,043
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	社会保険料:1,647千円皆増 4月からの賃金改定に伴い、社会保険加入要件に該当したため、所要の補正を行う。 ※学童指導員と指導員補助11名分(今後の任用予定者を含む。)					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	放課後等に小学生の適切な遊びや生活の場を確保し、健全育成を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
所 管	建設部 建設課					
事 業	3622	木津内田山線道路改良事業費				
市 総 合 計 画 （ 基 本 計 画 ） の 位 置 付 け	5章1 【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】 道路交通ネットワークの整備・充実					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	21,303		9,900		7,300	4,103
補 正 額	5,100		4,180		3,100	△ 2,180
補 正 後	26,403		14,080		10,400	1,923
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	測量委託料:5,100千円増(8,100千円) 当初予算では、土地開発公社で取得した用地を買い戻すための取得費のみ補助対象事業として計上していたが、社会資本整備総合交付金の内示結果を受け、木津中央地区外の道路用地取得予定地の測量と分筆の進捗を図るため、所要の補正を行う。					
主な特定財源	道路新設改良事業費国庫補助金:4,180千円、道路新設改良事業債:3,100千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯						
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	土木費	項	河川費	目	河川維持費
所 管	建設部 管理課					
事 業	3523	内水対策事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章1 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	94,070			24,325		69,745
補 正 額	△ 20,282					△ 20,282
補 正 後	73,788			24,325		49,463
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【IP無線機の増設(7台)】 通信運搬費:123千円増(287千円)、事務取扱手数料:23千円皆増、機械器具購入費:632千円皆増 大雨や台風接近時における樋門や排水ポンプ車など内水排除施設との的確な指揮命令の伝達を行うため、既設7台から14台へとIP無線機を増設する。 【排水ポンプユニット購入事業】 排水ポンプ等購入費:△21,060千円減(32,940千円) ※排水ポンプユニット(3台分)及び発動発電機(3台分)の契約差金					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	内水対策として排水機の能力を増強する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

平成30年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	都市計画費	目	街路事業費
所 管	建設部 建設課 まちづくり事業推進室					
事 業	3418	東中央線整備事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	5章1 【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】 道路交通ネットワークの整備・充実					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	206,613				185,800	20,000 813
補 正 額	4,602					4,602
補 正 後	211,215				185,800	20,000 5,415
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	東中央線街路整備関連工事費:4,602千円皆増 ※東中央線城山台1丁目付近中央分離帯への遮光板設置 (L=70m、H=1. 2m)					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	京都府が施行する東中央線整備事業に対する負担金支払い及び関連事業を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3466	木津南中学校管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	26,970					26,970
補 正 額	134					134
補 正 後	27,104					27,104
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	学校備品購入費:134千円増(729千円) 京都式チーム学校推進校として京都府教育委員会から指定を受け、木津南中学校区をブロック単位(木津南中学校、梅美台小学校、州見台小学校)とし、各学校の事務職員が単独で行っていた学校事務を複数の学校が共同で行う実践研究と、市内での共同実施のコアとなる共同実施センターの設置に向けた調査研究を行うため、所要の補正を行う。 ※共同事務室開設に伴う電話機1台の購入費					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	中学校の管理運営					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

平成30年度一般会計補正予算第1号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	幼稚園費	目	幼稚園費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2225	幼稚園事務事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	32,784		84	377		5,443 26,880
補 正 額	5,519		2,162	2,150		1,207
補 正 後	38,303		2,246	2,527		5,443 28,087
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	施設型給付費:5,519千円増(5,744千円) 市民が通園する奈良市所在の私立幼稚園が、平成30年4月から子ども・子育て支援新制度における幼稚園へと移行したことに伴い、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源	子どものための教育・保育給付費国庫負担金:2,162千円、子どものための教育・保育給付費府負担金:2,150千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	幼稚園教諭(臨時職員)等の雇用、幼稚園運営全般に関する庶務を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費
所 管	教育部 文化財保護課					
事 業	3727	歴史文化基本構想策定事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	1章1 【個性を活かした魅力ある地域文化の創造】 歴史・文化の保全・活用					
事 業 期 間	平成30年度から			新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	739		700			39
補 正 額	392		300			92
補 正 後	1,131		1,000			131
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	社会保険料:1千円増(3千円)、臨時職員賃金:342千円増(762千円)、普通旅費:3千円増(10千円)、消耗品費:10千円増(20千円)、印刷製本費:36千円皆増 昭和50年代から平成12年度にかけて編さんされた旧3町の町史など、各種資料にかかわる当時の調査記録の確認や再整理を行うための事前把握と、既存の文化財台帳の整理について、実施体制の充実を図るため、所要の補正を行う。 *臨時職員1名の雇用、調査結果記録のための台紙作成等					
主な特定財源	国宝重要文化財等保存整備費国庫補助金:300千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯						
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						